

山元町地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 町民バスとして、定時定路線バスとデマンド型乗合タクシー（区域運行型）の地域公共交通を併用運行することで町民の移動手段を確保してきたが、運行区間（区域）の重複等による低収支、顕在化しているバス乗務員不足などの運営課題に加え、予約受付の煩雑さの解消や、需要に見合う適切な車両の選択と効率的運用による輸送力向上等、求められる利便性向上にも対応する必要に迫られている。
- 本計画では、定時定路線バスとデマンド型乗合タクシーの役割を幹線と支線として明確に整理し、相互に補完し合う交通ネットワークに再編することを基本に、効率的かつ無駄のない交通体系を実現するとともに、限られた財源や人材の中で持続的な運行の実現に向け、運行体制そのものの見直しと経営基盤の強化を図り、町民一人ひとりが安心して移動できる利便性の高い地域交通の再構築を実施した。

事業の内容

①デマンド型乗合タクシー再編（町民バス予約運行型の運行）

- ・ 町内4分割されていた運行エリアを1エリアへ統合
- ・ 予約受付や運行管理を一元化
- ・ 一般乗合旅客自動車運送から自家用有償旅客運送へ転換
- ・ 定時定路線バスもあわせて再編し、町民バス予約運行型との役割分担の明確化、運行の効率化を実現

②公共交通情報冊子の作成

- ・ 町内の地域公共交通情報をまとめた冊子を作成
- ・ 高齢者やICTに不慣れな方にも配慮した紙媒体を活用

事業の効果

①利便性及び運行効率性の向上

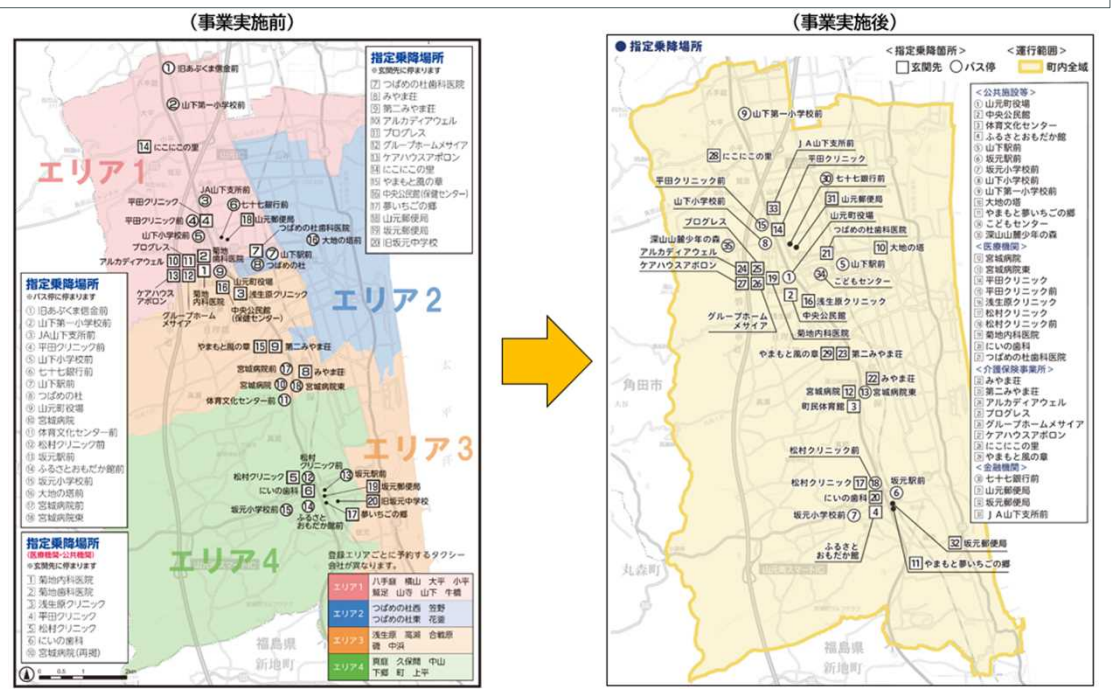
- ・ 再編による役割分担明確化で利用者にとって分かりやすくなるとともに、運行の効率化に伴うリソース活用により、持続可能な地域交通ネットワークの再構成を図る

②地域主体による運営体制の構築

- ・ 地域主体の運送サービスを展開することにより、行政や地域団体、住民等の地域交通に対する理解・関心が高まり、協働による持続的な運営体制の構築に寄与

③公共交通情報の「見える化」

- ・ 各地域交通に関する利用方法の明確化により利便増進を図るとともに、地域交通の認知度向上や目的に応じた交通手段の選択肢の拡充が見込まれる



- ←町民バス予約運行型
- ・ 作成自治体：宮城県山元町
 - ・ 事業実施区域：山元町全域
 - ・ 事業実施予定期間：令和7年10月～令和12年9月